

# 植栽の方法

住宅・商業・業務系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木（将来、高木となるものを含む。）で樹冠幅のあるものを敷際(注)に概ね6～8mに最低1本ずつ植樹するよう配慮するとともに、敷地内でシンボルとなる樹木の配置についても工夫する。なお、樹種の選定にあたっては、周辺の街路樹や既存の植生との連続性に配慮する。</li> <li>・上記の他、敷地内には、低・中・高木を適切に配置するなど、うるおいのある緑化計画を行うとともに、既存の樹木についてはできるだけ保存するよう配慮する。</li> </ul>
建築物 工業・農業等生産・流通系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木（将来、高木となるものを含む。）で樹冠幅のあるものを敷際(注)に概ね6～8mに最低1本ずつ植樹するよう配慮するとともに、敷地内でシンボルとなる樹木の配置についても工夫する。なお、樹種の選定にあたっては、周辺の街路樹や既存の植生との連続性に配慮する。</li> <li>・上記の他、敷地内には、低・中・高木を適切に配置するなど、うるおいのある緑化計画を行うとともに、既存の樹木についてはできるだけ保存するよう配慮する。ただし、工場立地法その他の法令により緑化の基準が設けられている事業所等に係わるものについては適用しない。</li> </ul>
指定工作物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷際(注)への植栽及び既存の樹木の保存について配慮する。ただし、工場立地法その他の法令により緑化の基準が設けられている事業所等に係わるものについては適用しない。</li> </ul>

(注)敷際は、建築物等の敷地のうち、道路など公共空間に接し、通りを利用する人や車から視認可能な部分を言う。



敷際にボリュームのある緑を配し、外壁の圧迫感を抑えています。



高木及び低木を配して高層建築物の環境調和を図っています。



ドライエリア部に植栽を施し、周辺との調和を図っています。

## ！ まちなみ緑化について

うるおいとやすらぎのある市街地を実現するために、敷際を中心として高木を植栽して下さい。

